

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「顕在化する社会課題の解決」領域

2. 重点公募テーマ

持続可能な環境・自然資本を実現し活用する新たな循環社会システムの構築

3. 研究開発課題名

産官民協働ネイチャーポジティブを実現する環境・社会影響評価

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

馬奈木 俊介（九州大学大学院工学研究院 主幹教授）

5. 評価結果

評点： A 優れている

総評：

本研究開発課題は、新国富指標およびライフサイクルアセスメント(LCA)を統合し、自然資本をフローとストックの両面から定量的に評価する新たな学術的手法を開発することで、本手法を利用した企業や自治体がサプライチェーンや投入財を見直し、減少した自然資本の回復ならびにネイチャーポジティブの達成を目的とする。

探索研究期間において、気候変動が生物多様性リスクに与える影響を評価し、温室効果ガス増加の影響を受けやすい生物分類群を明らかにするとともに、衛星データを活用した土地利用シミュレーション分析により日本全国および国土を細分化したグリッドレベルで植林・森林管理による CO2 除去量や自然資本の変化量を明らかにしたことを高く評価する。さらに、民間企業や自治体との連携を進め、社会受容性向上に向けて対外発表や国際的な発信等を積極的に推進したことも評価する。

今後は、参画する自治体、企業、団体等の戦略的な増加を図る施策立案とその実現を図っていただきたい。また、対象とするサステナビリティ評価の実施事例を積み上げ、それらの評価実施が企業価値の向上や社会・経済インパクトへ結び付けられるのかを示していただきたい。本課題の成果を基盤に、自然資本クレジットの制度化や実用化による自然資本回復やネイチャーポジティブ社会実現への新しいストーリーの提示と実現を期待する。

以上